

国際ロータリー会長  
ジョン ケニー  
地区ガバナー  
植木 康之  
三条北RC会長  
石川 勝行  
瀧雄  
SAA  
岡田 健



# 三条北ロータリークラブ週報

例会日 2010. 2. 9 累計 No.1118 当年 No.29

例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30  
例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114  
事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内  
TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488  
ホームページ:<http://www.sanjo-nrc.org>  
メールアドレス:north@sanjo-nrc.org

本日の出席:70名中39名

先々週の出席率:

70名中57名81.43%  
(前年同期86.76%)

1月の出席状況:会員数70名  
例会数4回

平均出席率72.04%  
前年同月 79.78%

本日の行事:

「世界理解月間」

先週のメイクアップ:(敬称略)

2月4日三条東RCへ

小林繁男

6日地区運営会議

中條耕二

8日地区訪比使節団結団式

中條耕二、堀川正幸

本日のオブザーバー:

本田芳久さん

本日のメニュー:912kcal

アサリとコーンのクリームソース

136

シーフードのマリネサラダ

129

豚ロースのペッパー風味ソース

367

ライス

168

ワンポークケーキと黄桃の

アップリコットソース 112

## 会長挨拶

石川 勝行会長



本日は、オブザーバーとして参加された本田芳久さん、いらっしやいませ。どうぞ、ごゆっくりお過ごしください。

視点(目線)ということが気になっています。新聞記事に、某※※※会社の不具合対応に対して某大臣が「・・・(不都合かどうかは)使う側が決めること。※※※の対応は顧客の視点をいささか欠如している」と苦言を呈した、とありました。たぶん、日本最強の会社でありますから、難なく解決していくと思えますが。

一方、今、自分を見渡してみました。今ロータリーの会長をさせてもらっています。今、皆さんより高い壇にいます。高い目線(視点)にいて良いのかと。自分なりに一生懸命にやっているが、果たして皆さんはどう思っているのかと。

目線(視点)を的確に認識できるかは、いろんな人、いろんな事象等に謙虚に触れ合うことではないでしょうか。国、民族、地域、業種、例えば身近な隣のロータリークラブであっても、目線(視点)は当然異なっています。

事業経営で危険なのは、負の循環ではないでしょうか。一つの問題がくすぶり続ける間に、次の問題が浮上し、どんどん事態が悪化することが、多くあります。

これに対処するには、目線(視点)の幅を広げ、早く気づき、早急に解決しなければなりません。この絶好の場がロータリークラブではないでしょうか。同業者団体にはない気づきを与えてくれるのではないのでしょうか。

三条北ロータリークラブには、いろんな人、いろんな業種の人があります。素晴らしい仲間たちです。70名を超えています。三条北ロータリークラブに入って良かったと思えるように、皆さんでしませんか。



オブザーバー本田芳久さん

3月の入会をお待ちいたしております。

## 幹事報告

### 早川瀧雄幹事



- ・植木ガバナー、米山奨学委員長より 米山奨学期間修了者歓送会のご案内  
日時 2010年3月6日(土) 11:30~  
会場 ANAクラウンプラザホテル新潟 2F芙蓉
- ・NPOさんじょうより  
「コミュニティビジネス推進フォーラム in さんじょう」開催のご案内  
日時 平成22年3月7日(日) 13:00~17:45  
会場 三条市総合福祉センター多目的ホール
- ・ロータリーの友事務所より ロータリー手帳お買い上げのお願い  
1部600円です。注文表を回しますのご希望の方はご記入下さい。

#### 三条ロイヤルホテルよりお願い (石川友意会員)

この度1Fを禁煙とさせていただきました。  
ご協力宜しくお願い申し上げます。



#### ニコニコBOX:9日現在累計667,000円

- 早川 瀧雄君 3月入会予定の本田さま、宜しくお願いいたします。
- 石川 一昭君 石川会長他ハワイ旅行に出発される皆様、どうぞ無事でお帰り下さい。  
特に岡田委員長あまりハメをはずさないように!!
- 中條 耕二君 魚長の本田社長さんのご入会をお祝いします。所用のため早退させていただきます。
- 星野 義男君 山本先生の卓話に感謝して!!本田さんの入会を心待ちしております。
- 坂内 康男君 馬場さんに協力、楽しい例会にしてください。
- 大野 新吉君 魚長の本田さんようこそ例会に出席いただきました。お待ちしておりますで大変うれしく思います。スポンサーの柄沢さん、外山さんありがとうございました。  
本日の世界理解月間の卓話、山本先生宜しくお願いいたします。
- 阿部 勝子君 本田君小さなお子さんの時を良く知ってる私です(本当に可愛かったんですよ)  
・・・本当に立派になられて・・・宜しくお願いい致します。



\*1月のコメント賞は石川一昭  
会員です。

## 米山奨学BOX

米山 忠俊君 山崎委員長に協力して。

阿部 勝子君 山崎さんご苦労さまです

羽賀 一夫君 山崎さんに赤い紙お願いしますと言われましたので。  
戦時中の赤紙を思い出しました。

梨木 建夫君 桑田真澄（元巨人軍投手）の講演会がありサインボールが当たりました。今年は良い年になるような予感がするので・・・一口寄付です。

青木 省一君 ポケットにあった\$10紙幣で協力です  
山崎 勲君 //



## 本日の行事

「世界理解月間」 国際奉仕委員会 山本 賢委員長

「世界理解月間に寄せて」



本日は、以前もお話したことのあるJHP学校を作る会で手にした細川佳代子（細川護熙元総理夫人）著の「花も花なれ人も人なれ」を参考にお話しします。細川家といえば熊本の

お殿様、祖先をたどれば戦国時代の細川ガラシャ夫人が有名ですが、細川佳代子さんが大変ご苦労されて、スペシャルオリンピックス日本という身体障害者のオリンピックとは別に、知的障害者のオリンピック（SPO）を設立しました。

SPOとは、知的発達障害のある人達がスポーツを通して、自立と社会参加ができるようになることを目指す国際組織で、日常的なスポーツプログラムと競技会を提供しています。

この組織は、アメリカのJ・Fケネディ大統領の妹 ユニス・ケネディ・シュライバーによって創立されました。

きっかけは、ケネディ家の9人の子供のうち、長女 ローズマリーが知的障害者だったためです。

佳代子夫人はSPOの活動には政治色をつけないことに努めて（その頃、首相夫人であった）1994年設立総会を行いました。

このSPOで一番大切にしていることは人に勝つことより、昨日の自分に勝つこと、そしてナンバーワンよりオンリーワンであることです。したがって、高田好胤先生が危惧していた、「日本はもので栄えて心で滅びる。」という日本の競争社会、利益追求、経済第一といった、価値観をひっくり返すものだったのです。

さらに設立まで日本には寄付文化が育っていないので、企業や団体の助成金ではなく個人の寄付を集めることについての意識の変革も必要でありました。

一方、活動の為のボランティア文化も日本にはなかったものが95年の阪神淡路大震災がきっかけとなって、ボランティア活動がプラス評価になりました。

又、企業も社会的責任を意識する時代とあいなって東京ガス、九州電力、日本ケンタッキーフライドチキン、ユニクロ、あるいは、富士ゼロックス、ソニー生命、これらの個人ボランティア企業、さらには国や長野県など官の理解が進み、日本で2005年の冬、アジア初の大会開催ができるまでに活動が実を結びました。

以上、久しぶりに目からうろこが落ちる様な素晴らしい本に出会い感動し、皆様の前で披露致しました。

**スペシャルオリンピックス (Special Olympics:SO)** は、知的発達障害のある人の自立や社会参加を目的として、日常的なスポーツプログラムや、成果の発表の場としての競技会を提供する国際的なスポーツ組織。 いつもどこかで活動しているということから、**Special Olympics** と複数形になっている。

**細川佳代子** NPO法人勇気の翼インクルージョン2015理事長

1994年スペシャルオリンピックス日本を設立、現在名誉会長。

知的発達障害のある人の自立と社会参加を日常的なスポーツを通して実現する活動を行う。

## 「映画ってやっぱり素晴らしいですね！！」

久しぶりに映画館へ足を運んできました、タイトルは「手のひらの幸せ」です。この映画のロケが三条市内で行われたせいもあるのでしょうか、いつもより観客が多かったように思われました。

私個人としては、大野会員や高橋前市長、それに阿部会員のお店「リズ」が登場するとあって、興味津々でした。

映画が始まると、スクリーンには美しい越後の山里の叙情あふれる映像が流れ、感動の連続でした。

そして市内の風景、本寺小路、三条駅、本成寺の赤門など馴染みしんだ風景が次々に映し出されると、心の中で、「ああ、あそこも、ここも・・・」とつぶやいてしまいました。

昭和の30～40年代、人々はみな豊かさを夢見て生きていた時代です、その中で懸命に生き抜く兄弟の姿は、今の私達に勇気を与えてくれるように思いました。

中でも、幼い兄弟が施設を逃げ出し、かつて祖父と暮らした懐かしい家に向かう途中、親切な人に出会いおにぎりとお柿をもらうシーンでは、思わず目頭が熱くなってきました。

人の心のなんと優しいことか！！

全編を通して、幼い兄弟が必死にお互いをかばいあう健気なシーンの連続に、涙涙でした。

この少年達の心の美しさや、それを見守る大人達の心の美しさは、かつての日本人が持っていた素晴らしいものであり、これからも大切にしたいものだと痛切に思いました。

皆さんも、機会がありましたらぜひこの映画を鑑賞してみてくださいはいかがでしょうか。

馬場直次郎



『手のひらの幸せ』は歌手布施明が創作した童話「この手のひらほどの幸せ」を映像化した感動のヒューマンドラマ。昭和30年代から40年代を舞台に、養護施設に引き取られた兄弟のきずなと幼き日の二人に訪れたささやかな幸せが、自然豊かな風景をバックにノスタルジックに描かれる。

高度経済成長期の昭和30～40年を舞台に、身寄りを亡くした兄弟が出会う小さな幸せと、二人を見守る大人たちのエピソードから、本当の幸せとは何かを問いかける。

\*撮影は、長岡市を拠点に、三条、燕、弥彦、新潟、柏崎、魚沼。三条市では三条駅や本寺小路等、燕市では燕三条エフエム放送、吉田地区の寺などで撮影。